

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)

【公表番号】特表 2007-511581 (P2007-511581A)

【公表日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2007-017

【出願番号】特願 2006-540430 (P2006-540430)

【国際特許分類】

C 0 7 C 231/12 (2006.01)

C 0 7 C 233/25 (2006.01)

A 6 1 K 31/167 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 231/12

C 0 7 C 233/25

A 6 1 K 31/167

A 6 1 P 25/04

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 24 日 (2007.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

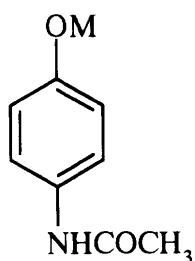
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次式 (I I) :

【化 1】



(II)

[式中、M は水素原子であるか、またはアルカリもしくはアルカリ土類金属のカチオン、オニウムカチオンである]

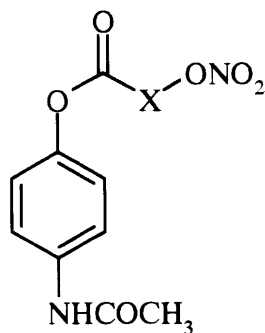
の化合物を、次式 (I I I) :



[ここで、Y は OH、Cl、OCOOR、OCO-X-COY (ここで、R は C₁-C₆ アルキルである) であり、X は下記で定義したとおりである]

の化合物と反応させることからなる、次式 (I) :

【化 2】



(I)

【式中、Xは、直鎖または分枝鎖状のC₁-C₂₀-アルキレン鎖である】
の製造方法。

【請求項 2】

X が、直鎖または分枝鎖状のC₁-C₆ アルキレン鎖である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

X がプロピレン鎖である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

Y がOHであり、M が水素原子である請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の方法。

【請求項 5】

反応が、双極性非プロトン性溶媒中、ジシクロヘキシルカルボジイミド(DCC)；またはDCCおよびアミノピリジン；アンバーリスト-15；ジエチルアゾジカルボキシレートおよびトリフェニルホスフィンから選択される脱水剤の存在下に行なわれる請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

M がNaまたはKであり、Y がClである請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の方法。

【請求項 7】

反応が、テトラヒドロフラン、ジオキサン、tert-ブチルメチルエーテルから選択される双極性非プロトン性溶媒中に行なわれる請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

M がオニウムカチオンであり、Y がClである請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の方法。

【請求項 9】

オニウムカチオンが、テトラアルキルアンモニウムまたはテトラアルキルホスホニウムから選択され、かつ反応が、トルエン、クロロベンゼン、テトラヒドロフラン、tert-ブチルメチルエーテルから選択される非プロトン性溶媒中に行なわれる請求項 8 に記載の方法。